



令和8年8月25日

地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業について 公募の結果、12件を選定しました

令和8年度「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」について、
選定事業を12件決定しました。

記

1. 事業の背景・目的

本事業（令和8年度予算額：5億円）では、大学と教育委員会が連携・協働し

- ・大学入試における「地域教員希望枠」の導入
- ・当該学生への地域課題に対応したコース・カリキュラムによる教育
- ・高校生に対する特別プログラムの導入

など、大学入学前から教員採用に至るまでの一貫した取組を促進し、地域や現場ニーズに対応した質の高い教師を継続的・安定的に養成し、確保するための取組に対して支援を行うことを目的としています。

2. 審査状況

教職課程の認定を受けている学科等を有する国公立大学に対して公募を行った結果、12大学から申請があり、「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業委員会」における審査を踏まえ、別紙のとおり12大学の事業を選定しました。

3. 選定事業

- ・選定大学の取組概要として、採択大学一覧をP2より掲載しておりますのでご参照ください。
- ・また、選定大学の取組概要については、後日、文部科学省ホームページに掲載しますので併せて御覧ください。

URL : https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/mext_00020.html

- ・地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業委員会（委員長（山口 宏樹（前独立行政法人大学入試センター理事長）））による、今回の選定に係る所見もP7より掲載しております。

<本件に関する問合せ先>

高等教育局教専門教育課

教員養成企画室教育大学係

電話 03-5253-4111（内線：3498）

令和8年度 地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業

【単独事業】12件

事業実施大学名	取組名
秋田大学	「教育立県あきた」を先導する理数系教育に強みを持つ若手リーダー教員養成プログラム
福島大学	福島ならではの教育を実現する「教員養成福島モデル」の構築
金沢大学	「石川県みらい創生枠」における能登で“生きる”力を育む教員養成
信州大学	教育委員会等との連携協働による「信州教育」を担う教員養成プログラムの構築ー地域教員希望枠を活用した機能強化ー
静岡大学	静岡型地域教員養成エコシステムの構築ー高校段階からの発掘と『地域課題対応型教師』の継続的育成・定着ー
愛知教育大学	地域の「科学・ものづくり教育」を支える教員養成・確保
山口大学	地域教育課題解決を担う「やまぐちPRIDE教員」養成のための三本の矢プログラム
香川大学	香川型教育実践プログラム～STEAM教育の地域展開と体験型教員養成プロジェクト～
高知大学	「高知のキャリア教育」を担う高知家教員養成プログラム
大分大学	大分の教志育成プログラムを基盤とした地域人材循環型教育実践創造教員養成プロジェクト
田園調布学園大学	地域教員希望枠で拓く、持続可能な小学校教員養成モデル ー地域で唯一の養成課程と教育委員会の連携でつくる、地域に根ざした教員養成のしくみー
玉川大学	学校現場体験活動×AI活用による神奈川県との連携教員養成プログラム

【採択大学の取組概要】

事業実施大学名	秋田大学
取組名	「教育立県あきた」を先導する理数系教育に強みを持つ若手リーダー教員養成プログラム
連携する教育委員会等	秋田県
事業概要	
全国一の少子高齢化が進む秋田県では、次世代を担う若手リーダー教員不足が喫緊の課題となっている。また、全国学力・学習状況調査では上位にあるものの、理数系教科の成績が下降しており、その対策も大きな課題である。これらの課題に対応するため、「教育立県あきた」を先導する理数系教育に強みを持った若手リーダー教員の育成を本事業の主目的とする。 本事業の達成のため、秋田県が全国に先駆けて採用している博士号教員と本学の研究者教員との連携により、入学後の理数系リーダー育成プログラムを構築する。さらに、地域課題解決能力を備えた「教育イノベーター」として、理数好きな児童を育てる探究学習、ICTを活用したモデル授業の展開、地域に根ざしたふるさと教育の推進を担う人材を育成する。 これらの取組を基盤とした秋田大学と秋田県教育委員会の盤石な共同体制の下、「教育立県あきた」を躍進させる。	

事業実施大学名	福島大学
取組名	福島ならではの教育を実現する「教員養成福島モデル」の構築
連携する教育委員会等	福島県
事業概要	
本事業では、第7次福島県総合教育計画が示す「福島ならではの教育」を実現する「教員養成福島モデル」を構築する。「地域教員希望枠」を新設する入試改革を行い、「地域教員希望枠」入学者は「教職志望コア層」として、1年次前期から他の学生を牽引し、集団全体の教職への意欲を高める役割を担う。 高校段階では、福島県立高校普通科「教育コース」に所属する生徒を対象とした「高校生セミナー」や、高校生向けアドバンストプレイスメントを実施し、教職への意識を醸成する。在学中は、地域課題に対応した5つの探究コースや、双葉・奥会津地域での教育実習を通じて、福島県内の都市部以外の課題を深く学ぶ。また、「地域教員希望枠」入学者向け採用枠の新設や福島県の教員研修の一部先取り履修について検討し、採用面と入職後の支援を一貫して行う環境を整える。上記を推進するため、「地域教育推進室」を設置し、実務家コーディネーターを配置する。	

事業実施大学名	金沢大学
取組名	「石川県みらい創生枠」における能登で“生きる”力を育む教員養成
連携する教育委員会等	石川県
事業概要	
本事業では、石川県教育委員会と連携しながら、本学の入試枠として「石川県みらい創生枠」を設定し、震災により生じた新たな教育課題と、過疎地域における従来からの教育課題が「複合」する能登地域において、地域のみらい創生に寄与できる教員を、全学教育プログラム「防災・復興人材特別プログラム」とも連携し、「全学体制」で育成するものである。高校段階から、高大接続プログラム等を活用し過疎地域の課題発見と解決案を「探究」する活動に取り組み、入学後は、安全教育や教育DXに関わる講義を受けることに加え、奥能登に実際に赴き、そこで生活している人々との直接的な関わりを通して、地域の教育課題と伝統・文化・自然を学び、教育的・心理的側面から復興に寄与できる人材を養成する。卒業時には「金沢大学推薦枠」で優先的に教員採用試験を受験可能とし、奥能登をはじめとする過疎地のみらいを創生する教員を継続的に輩出することを目指している。	

事業実施大学名	信州大学
取組名	教育委員会等との連携協働による「信州教育」を担う教員養成プログラムの構築ー地域教員希望枠を活用した機能強化ー
連携する教育委員会等	長野県 長野市 栄村 信濃町 根羽村 公益社団法人信濃教育会
事業概要	
長野県は山間地が多く、小規模校や学校統合、複式学級の増加といった課題に加え、不登校や特別支援教育、多文化共生への対応など複合的な教育課題を抱えている。一方で、「信州教育」に代表される地域に根差した活動の蓄積があり、信州大学教育学部はこれを基盤として、地域理解と臨床の実践力を重視した教員養成を展開してきた。本事業は、これらの地域課題に対応できる実践力を育成し、地域に定着して活躍する教員を輩出しつつ、組織の機能強化を図るものである。 具体的には「地域教員希望枠入試」により地域志向の高い学生を選抜し、多様な教育課題に対応できる資質・能力を育成する「地域枠教育プログラム」を4年間で構築する。また、教育委員会等と協働し、高大接続から養成、研修までを一体として制度設計し、大学と地域が協働して教員を育成・確保する仕組みを構築する。あわせて、ICT活用を含む高度な実践力を育成するカリキュラムの高度化を図る。	

事業実施大学名	静岡大学
取組名	静岡県地域教員養成エコシステムの構築ー高校段階からの発掘と『地域課題対応型教師』の継続的育成・定着ー
連携する教育委員会等	静岡県、静岡市、浜松市
事業概要	
静岡県では多様化する教育課題への対応と、地域に根ざす教員の安定的確保が喫緊の課題である。本事業では、大学と教育委員会等が協働し、高校段階から教員採用、採用後の定着までを一体的に支援する「静岡県地域教員養成エコシステム」を構築する。第一に、高校生向けプログラム「Teacher Explorers」を実施し、教職への関心を早期に育成して「地域教員希望枠入試」へ接続する。第二に、大学4年間では多文化共生や防災、STEAM教育等の地域課題を実践的に学ぶ教育プログラムを展開し、多様な子どもを支え、学校を変革する「地域課題対応型教師」を育成する。第三に、高校から採用後までを一貫する「Teacherポートフォリオ」を成長記録として運用し、教育委員会と連携した採用特別選考や初任者支援へと活用する。これにより、本学の教員養成機能を強化し、地域教育の質向上と持続可能な学校づくりを力強く牽引する。	

事業実施大学名	愛知教育大学
取組名	地域の「科学・ものづくり教育」を支える教員養成・確保
連携する教育委員会等	愛知県、名古屋市、刈谷市
事業概要	
日本有数の工業県である愛知県において、高校教育と高等教育における理工系人材育成シフトの潮流を見据え、愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・愛知教育大学の連携により、中学校「理科」「技術科」教員の不足という地域課題の解消を起点に、さらに地域の「科学・ものづくり教育」を牽引するリーダー教員の育成を目指し、地域教員希望枠を核とした、大学入学前段階から入学選抜、大学での教育プログラム、教員採用における特別選考までを一体的に設計した教員養成モデルを構築する。 主な取組として、地域教員希望枠入試の創設、科学・ものづくり教育が盛んな刈谷市教育委員会と連携した学校体験活動、「科学・ものづくりフェスタ」への出展等を通じて、子どもたちに科学やものづくりの魅力を伝える実践経験を体系的に積み重ねることで、将来の理工系人材育成を支え、地域の科学・ものづくり教育の中核を担う理科・技術科教員を継続的に養成する。	

事業実施大学名	山口大学
取組名	地域教育課題解決を担う「やまぐちPRIDE教員」養成のための三本の矢プログラム
連携する教育委員会等	山口県
事業概要	
本事業は、山口県教育委員会と連携し、小規模校・複式学級の増加や家庭学習支援の不足といった山口県固有の教育課題に対応できる「やまぐちPRIDE教員」（学校から地域の未来を創る心意気を持った教員）を、入学前から採用・定着まで一貫して養成するモデルの構築を目的とする。高校生対象プログラム、地域教員希望枠入試、三つのサブ・プログラム（教育DX・地域連携教育・PBS）から成る教育プログラム、教員採用制度との接続を有機的に連動させる。特に、教育DXにより複式学級への対応力を強化し、CSを核とした地域協働により家庭学習支援を充実させるとともに、PBSを活用して多様なニーズに対応できる支援力を育成する。これにより、地域課題を自ら解決できる教員を体系的に輩出し、山口県の教育の質の向上と持続可能性の確保に寄与し、県内公立学校への着実な人材供給と定着を実現する。	

事業実施大学名	香川大学
取組名	香川型教育実践プログラム～STEAM教育の地域展開と体験型教員養成プロジェクト～
連携する教育委員会等	香川県 香川県国際交流協会
事業概要	
本事業は、既設の香川県教員希望枠に加え、香川県の理系教員不足等の課題に応えるため、「15年先を見越した改革」として入学前から採用後までの一貫した教育体制を構築する。入試では、「STEAM枠」を新設する。本事業の最大の特徴は、地域枠学生の「地域教育実践プログラム」とSTEAM枠学生の「理数教育実践プログラム」を2本柱とし、双方が交わるハブとして「国際教育実践プログラム」を配置するカリキュラムにある。同時に香川県教育委員会と密接に連携し、1年次から4年次まで年次進行で交わりながら学ぶことで、分野を超えた相乗効果を生み出す。これにより、香川県に愛着を持ちつつSTEAMの素養と世界的視点で地域課題を解決する「グローバル教員」を育成することが可能となる。加えて、専任コーディネーターを介して新設の採用試験優遇措置や就職後支援までシームレスに繋ぐ事を通して、先駆的事業として香川県が求める教員を継続的に輩出することを目指す。	

事業実施大学名	高知大学
取組名	「高知のキャリア教育」を担う高知家教員養成プログラム
連携する教育委員会等	高知県
事業概要	
高知県教育委員会との協働体制のもと、地域教員希望枠を軸として高知県への深い理解と愛着をもつ人材を育成する「高知のキャリア教育」を担う高知家教員を養成し、第4期高知県教育振興基本計画に記された「地域への理解と愛着を育むキャリア教育」の推進を図る。具体的には、高校生を対象に体験入学の開催や「高知県の教育入門」の開講により教職イメージを具体化し「高知県枠」の受験へと繋げる。入学後は授業「高知のキャリア教育」等を通して高知県の教育現場の実際、産業等の現状などについて学び、高知県への理解や愛着を育みつつキャリア教育の理念や技法を身に付ける。加えて「公立学校教育実習」において現場感覚を培い、実習後に開催する「高知県教育委員会指導主事との座談会」での意見交換も踏まえ「応用実習」に臨むといった教育実習により高知県教育への理解を高めるとともに高知県への明確な愛着を育み、高知家教員になることへの意欲を高める。	

事業実施大学名	大分大学
取組名	大分の教志育成プログラムを基盤とした地域人材循環型教育実践創造教員養成プロジェクト
連携する教育委員会等	大分県
事業概要	
令和5年度から実施している学校推薦型の「大分の小学校教員志望枠（定員35名）」により、大分への教員志望者数の増加を目指している。入学した学生は、大分県のエデュケーション方針を理解し、地域が求める指導力・資質能力を習得して地域での教育課題の解決に寄与する教師を志す人材の育成を目的とする学修プログラムを受講することとしており、必要単位を習得した学生に「大分の教志認定証」の認定を行っている。また、大分県は令和9年度（2026年度実施）の教員採用試験から特別選考を導入し、「大分の小学校教員志望枠」で入学した学生のうち学業成績が優秀な学生を大学から推薦することとしている。なお、教志育成プログラムは「大分の小学校教員志望枠」で入学した学生のみではなく、希望する全ての学生に開放している。	

事業実施大学名	田園調布学園大学
取組名	地域教員希望枠で拓く、持続可能な小学校教員養成モデル ー地域で唯一の養成課程と教育委員会の連携でつくる、地域に根ざした教員養成のしくみー
連携する教育委員会等	川崎市
事業概要	
本事業は、市内唯一の小学校教員養成課程を有する田園調布学園大学が、川崎市教育委員会との包括連携協定に基づき緊密に連携し、「かわさき教育プラン」が掲げる人権尊重・多文化共生教育の推進、不登校児童生徒等への対応とも軌を一にしながら、地域に根ざした小学校教員を育成する取組である。深刻な教員不足という川崎市の喫緊の課題に対応するため、高校在学時の出張講義や探究型プログラムから、大学での教員養成、教員採用試験、採用後のフォローアップまで一貫した支援体制を構築する。学校インターンシップ等の実習科目や、大学院を活用した採用後フォローアップを通じて、多様な子どもに寄り添う実践力と定着力を兼ね備えた教員を養成する。川崎市で学び育った子どもたちが教員として地域に戻り、次の世代を育てる好循環を生み出すことで、地域循環型の教員養成モデルを確立し、川崎市全体の公教育の質を安定的に支える基盤となる。	

事業実施大学名	玉川大学
取組名	学校現場体験活動×AI活用による神奈川県との連携教員養成プログラム
連携する教育委員会等	神奈川県
事業概要	
本学は東京都町田市に本部を置くがキャンパスは神奈川県にまたがり、神奈川県からの進学者が最多という地域的特性を有する。この地域的特性を生かして、玉川大学は、質の高い教員の確保等の課題に対し、神奈川県教育委員会との連携を基盤として解決策の創出に取り組んでいる。具体的には、1年次～4年次まで毎年必修の学校体験活動を配置し、理論と実践の往還を軸とした教員養成を展開しながら、神奈川県内学校での実践活動や高校生向け教職講座の提供、さらに神奈川県で校長・行政職を経験した人材の客員教授登用等、多面的な連携を進めてきた。今後は、「地域教員希望枠」を創設・活用し、神奈川県教育委員会による高校段階の教職学習から大学での養成、教員就職まで一体的につなぐ仕組みの構築を目指す。その際、生成AIを活用した教員養成の高度化を図り、新しい学校づくりの有力な一員となり得る高度人材の育成に貢献する。	

地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業委員会 所見

今回、文部科学省における補助事業「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」に関して、大学と教育委員会が連携・協働し、大学入学前から教員採用に至るまでの一貫した取組を促進し、地域や現場ニーズに対応した質の高い教師を継続的・安定的に養成し、確保する取組を公募した。12 大学から申請があり、当委員会による審査の結果、12 大学を選定した。

本事業は、教育委員会と大学を結ぶコーディネーター教員が中核となり、教員を目指す「地域教員希望枠」の導入・拡充等の入試改革、離島・へき地、特別支援教育、不登校等の地域課題や特定分野に強み・専門性を有する教師養成等の地域ニーズに対応したコース・カリキュラムの構築を行うとともに、高校生に対する教職セミナー等の高大接続や、教員採用における特別選考等、大学と教育委員会の連携・協働のもと、地域が求める質の高い教師を継続的・安定的に養成し、確保するシステムを構築することを目的とするものである。

本事業委員会による審査に当たっては、申請のあった構想・計画が、事業趣旨を踏まえ、大学と教育委員会が連携・協働した、大学入学前から教員採用に至るまでの一貫した取組であることに加え、地域や現場ニーズに対応した質の高い教師の養成に繋がるかといった点等に留意して、書面審査、面接審査を実施し、選定を行った。

今回選定された取組を実施する大学は、今一度本事業の目的をしっかりと踏まえるとともに、本委員会が求めた改善に関するコメントをもとに着実に内容の充実を図り、計画を確実かつ迅速に実行していただきたい。

特に、事業を実施する上では、

- ・学長の強いリーダーシップにより、入試・カリキュラム改革等、事業を計画的に実施すること、
- ・「教員養成は大学、採用・研修は教育委員会」というこれまでの垣根を越えた、教育委員会との連携強化により、地域の課題やニーズを把握し、その解決の即戦力となる教師の養成に取り組むとともに、「令和の日本型学校教育」を牽引できるよう継続的に教育プログラムの充実を図ること、
- ・地域教員希望枠や地域課題に対応したコース・カリキュラムで学んだ学生が確実に教員として就職できるよう、教育委員会と連携の上、支援を行うこと、

- ・地域教員希望枠で入学した学生が、教員採用後、当該地域への教師としての定着等が図られるなど、キャリアパスの構築の工夫について、教育委員会と連携することが望ましいこと、
- ・事業を通して得た成果が、地域教員希望枠の学生だけでなく全学的に波及する取組となるよう、学内の事業実施体制を構築すること、
- ・補助期間終了後も確実に事業を推進できる体制を構築すること、

をお願いするとともに、当然のことではあるが、補助金の執行にあたり関係法令に基づき適正に管理し、執行されたい。

また本事業においては、今回初めて私立大学が採択された。教員養成において私立大学が果たす役割は重要であることから、今回選定された私立の 2 大学においては、教員養成を担う私立大学の先導モデルとなるような、地域が求める質の高い教師を継続的に養成する体制を構築することが望まれる。

終わりに、教員養成については、教員不足が課題となる中であっても、児童生徒の多様化やデジタル化の進展、少子高齢化の進行など、急速に変化する社会課題に対応する質の高い教員を養成していく必要がある。このため、教員養成大学・学部が担うべき役割は社会の変化に伴い、一層重要性を増していると言える。もとより教員養成大学・学部が行う教育と研究は、社会あるいは教育現場と常につながりを持っていることも重要な側面であったが、これからは「教員養成は大学、採用・研修は教育委員会」というこれまでの垣根を越えた連携強化が求められている。本事業を実施していく中で、教員養成大学・学部が、地域や現場ニーズに対応した質の高い教師を継続的・安定的に養成する体制が構築され、その成果が全国に広がっていくことを期待している。

令和 8 年 8 月

地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業委員会

委員長 山口 宏樹

地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業委員会
委員名簿

(五十音順、敬称略)

岩 田 周 TMI 総合法律事務所弁護士

蛇 穴 治 夫 前 北海道教育大学長

富 田 明 徳 大阪府門真市教育委員会教育長

濱 田 久美子 高知県産業教育振興会理事長

福 元 洋 平 読売新聞記者

前 川 明 範 京都府教育委員会教育長

森 田 真 樹 立命館大学大学院教職研究科長・教授

○ 山 口 宏 樹 前 独立行政法人大学入試センター理事長

(計8名、○：委員長)